

令和7年度 藤森中ブロック 小中一貫教育構想図

【令和7年度
5校の合言葉】

自慢できる
「ええ子」
育てよう！

教育目標		めざす児童・生徒像	研究主題
藤ノ森小	自ら学ぶ意欲と豊かな人間性をもち、心身ともにたくましく生きる藤ノ森の子	・すんでも学ぶ子 ・だれとでもつながる子 ・やくそくを守る子 ・しなやかで元気な子	自ら考え、共に学び合う子の育成 ～自己指導力の獲得をめざして～
藤城小	思いやりの心をもって、生き生きと活動する子	・ふかく考える子 ・じっせんする子 ・しゃかいとうつながる子 ・こころゆたかな子	生き生きと学び続ける子の育成 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、教員が挑戦とふりかえりのサイクルを回して生き生きと学び続けよう
砂川小	『「絆」を大切にし、自らの未来を創造する砂川の子』	「やさしく かしこく たくましく」 ・思いやりの心をもち、仲間とともに伸びようとする自律した砂川の子（豊かな心） ・夢に向かって自己学び、他者と協働しながら高め合う砂川の子（豊かな学力） ・たくましい心と体を育み、「いのち」を大切にする砂川の子（健やかな体）	自分で考え、仲間と学び合い、共に高め合う子の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～
竹田小	夢に向かって輝く、竹田っ子！ ～夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子をめざして～	【学力・習慣】自分を大切にできる子 【仲間づくり】他とのつながりを大切にできる子	夢に向かって輝く探究力の育成
藤森中	人間尊重の精神を基盤とした藤中教育の伝統を継承し、すべての生徒に、自らの将来を切り拓くことができる力を育む	・自主：自ら考え、行動できる生徒 ・敬愛：自他を大切にする生徒 ・挑戦：挑戦し、結果から学ぶ達しい生徒	自ら学び生徒を育てるシステムと文化をつくる ～振り返りを軸にした学ぶ意識の向上～

めざす子ども像：「自他を大切にし、主体的に学ぶ児童・生徒の育成」

■小中連携
■藤森中ブロックの地域性や児童生徒の背景を踏まえた教育活動を展開するため、各校の教育課題を明確にし、解決するための情報交換や連携した取組を実践する。

確かな学力 豊かな心 健やかな体

【小中合同 6部会のねらい】

【保健・健康教育部会】
◆養護教諭+保健主事+栄養教諭等
・児童生徒の生活習慣の実態調査・分析
・健康教育の合同取組の企画・立案・推進
・健康面での配慮を要する児童生徒の共有化
・給食指導及び食アレルギー等の情報交換
・その他

【人権教育部会】
◆人権教育主任+同級主任等
・人権に関わる授業研修等
・人権に関わる学校行事等の情報交換
・人権に関わる地域行事等の共有化
・その他

【学力把握・向上部会】
◆研究主任+教務担当教員等
・文部科学省学力調査の結果分析
・ジョイントプログラムの結果分析
・基礎・基本的な知識・技能習得
・思考力・判断力・表現力等の育成
・その他

【総合育成支援教育部会】
◆総合育成支援教育主任+LD連絡担当+育成学級担当等
・支援の必要な児童生徒の実態把握及び共有化
・LD等の児童生徒への手立て等の情報交換
・小中育成学級の授業研修
・小中育成学級合同授業

【生徒指導部会】
◆各校生徒指導主任+児童会生徒会担当主任等
・規範意識の育成
・学校・学級のきまりの統一性
・児童会生徒会の交流・推進
・部会動の交流・推進
・規律ある生活習慣の確立
・その他

【授業改善部会】
◆各教科担任
・小中授業研修（授業展開・個に応じた手立て）
・言語活動の充実に向けての取組
・コミュニケーション能力の育成
・その他

①実態状況の分析による各部の評議 ②児童・生徒の姿やアンケートやキャリアノート等の分析 ③学校評議会員や保護者の意見・質問等の意見分析

小中一貫した考えに立った指導	
中3 中2	自己主導力 探究的実践力 個性伸長期
中1 小6 小5	自己主体的実践力 個性表現力 探究期
小4 小3 小1	自己基礎力 理解力 基礎実践期
小2 小1	自己定着力 親密度期

学習指導共通実践事項	
発展期	◆これまで身に付けたことを発展させ、自ら課題を見つけ、それを解決する力を育成する。 【共通実践事項】 ①学習の約束と心構え：自分の考えと比較しながら共感的に聞き、自分の考えを相手にわかるように話す。 ②言語活動：自分の考えを適切な言葉で相手にわかるように論理的に話す。 ③家庭学習：目標を立て、自分の課題克服に取り組む。 (90~120分)
活用期	◆これまで身に付けたことを活用させて、論理的思考力の育成を図る。 【共通実践事項】 ①学習の約束と心構え：話し手の意図を考え、自分の考えと比べて聞くことができる。 ②言語活動：場に応じた声の大きさで話し、自分の考えを伝えることができる。 ③家庭学習：自分で課題を見つけ、毎日計画的に取り組むことができる。 (50~60分)
基礎実践期	◆学習規律や基礎的・基本的な知識や技能を繰り返し指導し、習熟を図り、定着させる。 【共通実践事項】 ①学習の約束と心構え：友だちや先生の話を最後まで聞き、要点を聞きとることができます。 ②言語活動：皆に聞こえるように大きな声で話すことや、場に応じた声の大きさで話すことができる。 ③家庭学習：与えられた課題について、興味をもって取り組み、自分で課題を見つけることができる。 (10~40分)

4月	※教務・生徒指導・人権部会 月1回会議を開催。
5月	・小中連絡会
6月	
7月	
8月	・小中合同夏季研修会 *皆がこの研修会で意見交換をする。 *夏休み明け課題テスト
9月	
12月	・オープンスクール *小学生体験授業・入学説明会
1月	
2月	
3月	・小中連絡会

学 核 *
校 と 市
し 民 て ぐ
開 、 ぐ る
か れ み
家 家 庭 、
み て ぐ
庭 、
地 域 、
域 ぐ
に る 信
地 域 に る
域 づ
に る 頼
信 み
に る さ
頼 み
に る 教
信 づ
に る 育
頼 づ
に る の